2021年度NPO法人愛実の会事業報告　法人概況

1. 実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施した。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2. 事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

(1)生活介護事業について

契約メンバー数　29名(2022年3月31日現在)1日平均 13.7 名の利用(定員20人)

2021年度は更にコロナ禍の影響を受け、施設内で陽性者が出たため7日間を休所としたが、感染拡大することはなかった。収益については、休業補償や助成金により補填することができた。感染予防についてはできるだけの策を講じ、メンバー・職員の安全を第一にし、活動については外出活動の制限を徐々に緩和し、実施することができた。メンバーの笑顔を大切に寄り添う支援を実践した一年となった。

詳細については各部署報告参照。

(2)居宅介護・重度訪問介護及び移動支援事業について

ホームヘルプとして(朝・夕の介助、入浴、通院、入院時、外出支援、家事等)を行い、安心できるサービス提供の支援を行った。2021年度利用:月平均123件(前年度99件)、コロナ禍の影響により今年度も利用のキャンセル等多数ある中で、サービス提供を増やすことができた。重度訪問介護については、地域自立生活支援として24時間のケアを実践し、継続的支援体制が整ってきた。移動支援はサービス利用が無かった。

(3)独自サービス事業について

コロナ禍の影響から利用件数は更に減少傾向となった。71件(前年81件)
主なサービス内容(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)

②アシスタント体制について

●新規採用名(パート1名)、退職者名(アルバイト1名)

●アシスタント総数37名(2022年3月31日現在)

○正職員　17名:生活介護管理者1名、サービス管理責任者2名、生活支援員10名
居宅介護管理者1名、サービス提供責任者1名、居宅ヘルパー1名、調理員・事務1名

○嘱託職員　2名:医師1名、生活支援員1名

○パート　3名:生活支援員3名

○アルバイト 15名:生活支援員3名、看護師1名、送迎運転手4名、清掃員1名、調理員3名、
登録ヘルパー2名、リトミック講師1名

③研修について

●法人全体研修会　2021年4月29日(木)　場所:障がい者デイセンター愛実
理念の共有、各部署の目標の共有、NPO法人設立15周年について、コミュニケーション研修等

④福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成
●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続

⑤実習生・見学等の受け入れについて

●通所希望者の実習を受け入れ、見学については基本見送りとした。

⑥ボランティア等の受け入れについて

●2021年12月25日　名古屋ワイズメンズクラブによるクリスマス演奏会を窓越しにて行いました。

3. 会議の開催に関する事項

①総会

●通常総会　2021年5月29日(土)
　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画、NPO法人設立15周年に関する件等

②理事会

●第1回理事会　2021年 5月15日（土）議題：通常総会議案に関する件等
●第2回理事会　2021年10月23日（土）議題：上半期事業報告、シェアハウス構想に関する件等
●第3回理事会　2022年 4月16日（土）議題：役員改選、シェアハウスに関する件、運営方針に関する件等

③定例会

●新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、開催を見送りとした。

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議（必要に応じて実施）、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)実施
●全体ミーティング（毎月第3火曜）

4. 寄付等について

●寄付金の指定　①寄付金（新型コロナウイルス感染症予防対策、アシスタント体制の充実）
　　②夢づくり(紙風船人形劇の製作費)

　目標額200万　寄付金総額　2, 016, 691円
　認定NPO基準：PST（3000円以上の寄付者）＝172名　合計226件の寄付を頂きました。

●法人正会員の状況
　2022年3月31日現在45名
　（内訳：メンバー家族23名　アシスタント17名　協力者3名　理事2名）

5. 2021年度会計の状況

●予算123,150,200円 に対して決算 124,468,005円　経常利益：285,058円　法人税：71,000円
　決算書参照

2021年度　生活介護：大地の家　事業報告

事業概要

事業期間	2021.4.1-2022.3.31
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。 また、今年度は新しい生活様式を理解し、その中で新しい取り組みを行っていく。 制約を多く受ける中で楽しめることを最大限みんなで協力し楽しんでいくようにしたい。

	計画項目	振り返り	
2021年度 活動計画の 振り返り	2021年度テーマについて	メンバーの視点に立ち、一人一人に寄り添えるような関係づくりを心掛けてきた。 メンバーの表情や様子、声などから、その時々にどんな気持ちでいるのかを汲み取り、想像し、寄り添うよう心掛けた。その都度汲み取ったことから声掛けや様々な働きかけを実施し、関係を深めてきた。 また、メンバーが主体的に活動等に参加するため、活動担当アシスタントが創意工夫を凝らし実践をしていた。活動の中においても、それぞれのメンバーにつくアシスタントが、メンバーが参加しやすいよう工夫をしていた。 季節の行事や日常の活動の中に季節を取り入れたが、外出の機会が減ったことで季節感を感じられる機会が減少した。工作やレクなどの活動の場面でも季節感を取り入れようと工夫をしていたが、なかなか実感するというところにまで結びつきにくかったように感じている。	
	日々の実践における新しい生活様式の取り入れ方	外出活動	人が多く、密になりやすい場所を避け、近隣の公園への散歩を実施した。散歩の延長として午前中のみの外出を実施した。
		室内活動	メンバー同士が2m以内の対面になることを極力避けて活動した。共同で使用する物については、その都度消毒を実施した。
		日常の消毒作業	昼食前後の食卓の消毒は水拭きとアルコール除菌スプレーによる消毒とした。朝の準備と帰りの片付けはアルコール除菌タオルにて食卓の消毒を実施した。
		クリスマス週間	ミュージック・ケア、キャンドルサービス、リトミック、レクリエーションを実施した。 感染拡大防止のため、大人数が集まることを避けた。 昨年度と同様にクリスマス週間を設け、希望するご家族にも参加していただいた。普段のメンバーの様子を見てもらう機会となった。

	活動名	活動内容
日常活動の 振り返り	ふれあい体操	アシスタント体制がとれている時に、ほぼ毎日休憩後に実施した。繰り返しふれあい体操を行ってきたことで、休憩後にはふれあい体操を行うものだという認識がメンバーにも定着したように思う。 休憩後にふれあい体操ができないと、不機嫌になるメンバーもいたりした。

日常活動の振り返り	音楽活動 リトミック	週1回程度ミュージック・ケアを実施した。新たな取り組みとして、布団に降りて行うミュージック・ケアを実施した。使用する音楽を絞り、長期間継続することで、音楽に合わせた動作の見通しが立ちやすくなっていった。 リトミックでは月2回音楽講師によるプログラムが実施された。季節に合わせたピアノの演奏をもとに、身体を動かしてみたり、ハンドベルを鳴らすなど五感で刺激を受けやすい取り組みを実施した。
	工作 創作活動	メンバーが活動のどの部分に関わり、主体的に参加できるかということに難しさを感じることがあった。メンバーが主体的に関われるよう工夫を凝らしたが、毎回主体的に関われたとは言い切れなかった。 また、限られた時間の中で、制作活動をやりきることに難しさを感じることもあった。
	少人数 活動	曜日ごとに少人数活動に関わるメンバーを固定し、部屋を分けて実施した。 基本的に大地の部屋では大人数で活発に取り組むことに対して、愛実の部屋では少人数でまったり活動することを意識した。 少人数になることで一人ひとりの関わりが深くなり、よりメンバーの気持ちに寄り添える時間となった。

	月次	具体的内容
年間外出活動一覧	5	散歩（荒子川公園）＜曜日を分けて2回実施＞
	11	紅葉見物（中部労災病院付近）
		散歩（白鳥公園）
	春・秋	外出活動ではないが、近隣の木場中央公園に散歩に出かけた。
	感染症の影響により遠方や人の多い場所、飲食を伴う外出はできなかった。しかし、このような状況下でもできる限り外へ出ていこうという思いの下で散歩外出を実施した。 なかなか皆で出かける機会はなかったが、久しぶりに皆で揃って外へ出ると笑顔になるメンバーも多くいて、近場であろうと外へ出ることの意義を痛感した。 また、名古屋茶屋イオンのイエローレシートキャンペーンは不特定多数の人と接触することから店頭活動はできなかった。（団体登録はしているが、感染症の影響により不参加）	

活動総括	2021年度はコロナ禍2年目の年となった。 年度当初から、この新型コロナウイルス感染症の影響は避けられないと考えており、新しい生活様式に則って活動を計画した。 外出については制限を多く受けたが、先述の通り工夫を凝らして取り組みを再開した。 2020年度は外出の取り組みが全くできなかった分、2021年度に初めて外出活動を行った際にメンバーの笑顔を多くみられたときには、深く感動したことを覚えている。 たかが散歩の外出ではあったが、その取り組みの持つ意味は大きいと感じた。 また、外出活動以外にも日々の活動でも感染症が広まらないよう、常に意識して取り組むことになった。 活動の都度消毒作業を行ったり、昼食前後の消毒には労を要した。 さすがに2年目ともなれば慣れてきたが、日々の業務が増えたことには変わりない。消毒方法等については、もう少し改善の余地があるのではないかとも考えている。 これらのことで意識したことは、コロナ禍にあって制限を受けることがあるとしても、活動の規模を縮小したり、取りやめることはなるべく避けたいということだった。 それは、新しい生活様式に則りつつ、活動の充実を図るということだったようにも思う。 コロナに負けることなく、またコロナを追放もできないので、共存すべく取り組みを実施した年だっと思う。 2021年度は年度当初にメンバー1名が新規に通所を開始された。 特別支援学校卒業後すぐの通所開始であり、週に1日しか通所されない予定だったので、お互いに順調に慣れていくことができるのか不安であった。 しかし、6月からは週に4日の通所に変更されたこともあり、次第に落ち着いて過ごせるようになっていった。 まだまだお互いに分かり合っているとは言い難いが、大地の家のメンバーの一員として今後も個性を発揮しながら通所していただきたいと思う。 他のメンバーについても、コロナ禍にあって少なからず影響を受けていると思うが、それぞれがのびのびと個性を発揮し、楽しく通所していただけることを願っている。

2021年度　生活介護：紙風船　事業報告

事業概要

<table>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">2021.4～2022.3.31</td></tr>
<tr><td rowspan="2">当事業年度
テーマ</td><td colspan="2">①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう</td></tr>
<tr><td colspan="2">・引き続きのテーマを念頭に活動しました。週一回土曜日にできるだけみんなで読み上げるようにしています。
・新型コロナウィルス感染症蔓延により外出がほとんどできず、①のテーマに沿う活動ができませんでした。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">人形劇活動</td><td></td><td>内容</td></tr>
<tr><td>人形劇講座</td><td>人形技術家おばらしげる先生による演技指導、人形劇講座等　月1回実施</td></tr>
<tr><td>人形劇練習</td><td>新作「裸にされた王様と大臣」はコロナ蔓延等の理由により年度内の仕上げができませんでしたが、2022年7月完成を目指し稽古を続けています。</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>ボランティア公演はありませんでした。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人形劇実績
（公演、稽古）</td><td>公演</td><td>2021年度も各種人形劇フェスティバルやイベントの開催中止が続き、人形劇の公演を外部で行うことができませんでしたが、12月21日に「発達センターあつた」様のクリスマス会で、熱田文化小劇場にて人形劇の公演を行うことができました。2021年度唯一の外部公演でした。
また、「やっぱりうっかりおおかみくん」というオリジナル作品や、パネルシアター作品をYouTubeに投稿しました。</td></tr>
<tr><td>稽古</td><td>「裸にされた王様と大臣」の稽古が中心でしたが、12月に公演依頼があり、急遽「ボーちゃん」の新キャストを組み、稽古しました。初めての舞台でも堂々としていたメンバーは印象的です。なお、新作「裸にされた王様と大臣」の完成がコロナ禍による講座の中止などもあり遅れています。
2022年7月完成、8月お披露目を目指して稽古を続けています。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">外出活動
報告会など</td><td>実施月</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>イエローレシート
参加可能月</td><td>今年度はありませんでした。</td></tr>
<tr><td>3月、4月</td><td>少しでも春を味わってもらおうと近くの公園へ花見に出かけました。</td></tr>
<tr><td>家庭への報告会</td><td>6月11月の活動報告会は中止。個別モニタリングとして希望者との電話モニタリングを実施。</td></tr>
<tr><td>外出レク</td><td>新型コロナウィルス感染症拡大のため中止。</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table>

毎日の活動	宣伝活動	SNSを活用した紙風船の活動報告やグッズの宣伝などを行いました。
	グッズ活動	数々の新作を売り出しました。 ステッカー、ぬりえ絵はがき　引き続き販売方法の見当が必要です。
	夢づくり活動	日中活動の充実やリモート公演実現に向けての話し合いも行いました。
	仲間の会	月に1回実施。月の予定の確認やメンバーからの意見の検討など。
	体力づくり	外での運動はできませんでしたが、歩行訓練、室内バスケやボッチャなど、それぞれに合った体力づくりをしました。
	身体のケア	ストレッチ、マッサージ、ふれあい体操などを実施しました。 希望者には冬場の足湯も行っています。
	サークル活動	火・水・金曜日でそれぞれ希望する日にフリー活動を行いました。 外出はできませんでしたが、お菓子作りやDVD鑑賞、テレビゲームなどで楽しみました。（自由参加・給料対象外）
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしてきました。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用しています。
	ボッチャ eスポーツ	2021年度の新たな取り組みとして取り入れました。東京パラリンピックの開催年という事もあり、ボッチャへのメンバーの関心は強く、用具も一式揃えるなどメンバー、アシスタント共に熱心に取り組みました。また、eスポーツはまだ本格的な競技というよりパソコンを使ったゲームで慣らしてている段階です。
	その他	言語訓練士による発声プログラム、川柳作り、月々の壁紙づくりなど。

人員配置

	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	2～3	4～6	6～7	6	6～7	6～7	30～36
アシスタント	2	5～6	6	6	6～7	5～6	30～33

その他	メンバー給料：1日150円を継続しましたが、夏季・冬期賞与は支給できませんでした。

2021年度　紙風船作業会計報告

	内容	合計(円)
収入	人形劇公演料(公演1回)	35,000
	グッズ売り上げ	13,500
	預金利子	3
	小計A(収入)	48,503
支出	メンバー給料	195,300
	小計B(支出)	195,300
利益	収入A－支出B	-146,797

★名古屋銀行通帳残高（作業会計）
2021年4月スタート 484,334円　→　2022年度繰り越し残高 337,537円

★『夢づくり』会計について
〈収入〉Ⓐ
①　前年度からの繰り越し(利子含）911,765円
②　夢づくり寄付　　38件（2021年4/1～2022年3月末）139,411円＋利子8円＝139,419円
①＋②＝1,051,184円
〈支出〉Ⓑ
①　人形劇制作　　95,283円
②　照明器具　　37,893円
③　PC,CPU　　44,480円
④　紙風船小口へ　　150,000円
①～④合計　　327,656円
　Ⓐ－Ⓑ　　723,528円

★読売新聞福祉文化賞受賞残　　391,908円
　自由に使えるお金として、夢づくりに残してあります。

★夢づくり次年度繰越金　　331,620円

2021年度　居宅介護事業所あみ事業報告

● 提供内容：居宅介護（身体介護・家事援助）・重度訪問介護（外出支援含む）
　　移動支援(ガイドヘルプ)

● 実利用者数：24名(内：新規利用者1名)前年度23名（+1名）　月平均利用：123件(前年度+24件)
内訳　居宅介護：19名（メンバー12名・外部7名、男性7名・女性12名）
　　重度訪問介護：10名（メンバー7名・外部3名、男性2名・女性8名）
　　移動支援：0名　　※サービス重複利用者7名（内メンバー5名）

● 具体的内容：居宅介護：生活介護通所前後のケア、入浴介助、家事援助
　　重度訪問介護：生活全般の支援、外出支援、見守り等、医療的ケア

● 職員：管理者1名（ヘルパー兼務）、サービス提供責任者1名、常勤ヘルパー1名
生活介護兼務職員4名（非常勤）、登録ヘルパー2名　計9名（内喀痰吸引等資格取得者6名）

● まとめ

・ Aさんの重度訪問介護による24時間の地域生活支援は、支援体制も充実し継続して行うことが出来た。モデルケースとして推奨。

・ コロナ禍感染拡大で濃厚接触者が多数出たことによる影響を大きく受けた。
重訪移動については、外出条件を緩和し実施。（食事は不可）
全体のサービス提供実績は1183件→1472件(+289)の増加。
2020年度収益：17,050,840円→2021年度収益：21,416,751円（＋437万）
居宅介護の提供時間：1191H→1268H（+77H）、重訪移動の利用：169件→368件（+199件）
重度訪問介護の提供時間：2460H→2851H（＋391H）
移動支援の提供時間：28H→0H

・ 毎月1回の定例会議を開催し、現況報告及び情報の共有、研修や相談の機会を持つことができた。

・ 業務効率化を目指し、ICTの研修及び導入の検討を行った。

2022年度行政申請内容

		その他該当する体制等		適用開始日
		地域区分	三級地	
介護給付費	居宅介護	特定事業所加算	あり	R2.4.1
		処遇改善加算	あり	H25.4.1
		キャリアパス区分	Ⅰ	H27.4.1
		特定処遇改善加算	あり	R3.4.1
		特例交付金加算	**あり**	**R4.4.1**
	重度訪問介護	特定事業所加算	あり	R2.4.1
		処遇改善加算	あり	H25.4.1
		キャリアパス区分	Ⅰ	H27.4.1
		特定処遇改善加算	あり	R3.4.1
		特例交付金加算	**あり**	**R4.4.1**

2021年度 管理部門事業報告

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、衛生管理マニュアルに基づく調理を行う ○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成 ○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染予防 ○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施 ○ 各車両年に2回オイル交換の実施 ○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様 ○ トランコムMTS(株)にて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施 ○ 火災予防上の自主点検実施	○ 10月19日　アシスタント全体ミーティングにて、防災備品と水害ハザードマップを確認（訓練） ○ 3月22日　南海トラフ地震・大津波警報を想定した避難訓練（雨天のためホールまでの誘導とした） ○ 非常食、備蓄水の使用期限切れのため、全面的に入替を実施

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 見やすい会報つくり ○ 職員が参加できる書面つくり	○ 年3回の会報発刊（7月・11月・3月） 校正を決め、各担当への原稿依頼 ○ 全体の編集、校正確認、入稿、発送準備等 ○ 会報を通して「愛実の会」を発信していき、寄付者を募っていく ○ 既存の会報の形の捉われず、活動のテーマや目的などをわかりやすく発信できるものにしていく

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ 愛実の会の見える化の促進	○ 情報公開及び愛実の会の魅力の発信 ○ 会報の掲載及び最新情報の更新 ○ 情報コーナーでは防災お役立ち情報を追加